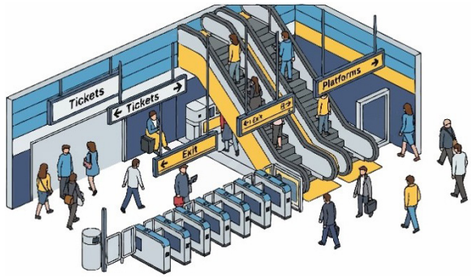
SDGs新聞 | JR西日本（西日本旅客鉄道株式会社）

駅でできる！？未来の健康チェック

SDGsラジオを読んでみよう！

元気に毎日をすごすために、大切なものは何だと思いますか？「健康」と答える人は多いですよね？
幸せに生きていくために、健康であることはとても大切です。
2025年に開催された「大阪・関西万博」でも、健康やいのちをテーマにした「大阪ヘルスケアパビリオン」が出展されました。
このパビリオンに参加した会社のひとつが、鉄道会社の「JR西日本」です。
JR西日本は万博をきっかけに、多くの人が行き交う駅の強みをいかして、人々の健康に関する新しい取り組みを進めてきました。
そして今、大阪ヘルスケアパビリオンに設置されていた「カラダ測定ポッド」は、大阪駅などで体験することができます。
ふだん使う駅で、気軽に体の状態を知れることは、健康について考える第一歩になり、
みんなが元気にくらせる社会づくりへとつながっていきます。
健康のために、どんなことができるでしょうか？みなさんで話し合ってみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：さまざまな人が利用する駅のイメージ

元気に毎日をすごすために、健康はとても大切です。2025年に開催された「大阪・関西万博」でも、健康やいのちをテーマにした「大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn」が出展され、「医療や健康に関する最先端の技術やサービス」にふれながら、健康やいのち、未来の医療について楽しみながら学ぶことができました。このパビリオンに参加した会社のひとつが、鉄道会社の「JR西日本」です。JR西日本は、毎日たくさんの人が利用し、くらしのすぐそばにある「駅」の可能性について考えてきました。そして、万博をきっかけに取り組んできたのが、駅をいかした健康に関する新しいしくみづくりです。




画像参照：「DotHealth Osaka」と「カラダ測定ポッド」

そんなJR西日本の思いが形になり、大阪・関西万博では「カラダ測定ポッド」がおひろめされました。カラダ測定ポッドでは、心血管、筋肉や肌、髪の状態まで、健康に関するデータを簡単に調べることができます。万博期間中、JR西日本はJR大阪駅やJR天王寺駅にも「カラダ測定ポッドStation版」を設置していました。そして万博が終わった今も、「DotHealth カラダ測定サービス」として、引き続き体験できるようになっています。毎日たくさんの人が利用する駅で、気軽に自分の健康状態を知ることができれば、健康について考えるきっかけにもなります。駅を「移動するために使う場所」だけではなく、「人々の健康を支える場所」へと広げるこの取り組みは、みんなが元気にくらせる社会づくりにつながっていきます。

キーワード

万博

「万国博覧会」を略した国際博覧会（英語名：EXPO）の通称で、世界中の国や会社が集まり、最新の技術やサービス、文化を紹介する大きなイベントです。

パビリオン

展示会やイベントで使うためにつくる建物やスペースのことです。多くの人が集まり、さまざまな展示物を楽しめます。

DotHealth Osaka（ドットヘルス オオサカ）

JR大阪駅にある、自分の体の状態を気軽に知ったりできる場所です。駅の中にあることで、健康について考えることが身近になります。

対象ゴール



みなさんにできること！

健康のためにできることを考えてみましょう。

おさらい

- JR西日本は万博をきっかけに、駅をいかした健康に関する新しい取り組みを進めてきた。
- 万博に設置されていた「カラダ測定ポッド」は今も、JR大阪駅などで体験できる。
- 駅で気軽に体の状態を知れることは、みんなが元気にくらせる社会づくりにつながる。

メモ

SDGs ラジオ